

《担当者名》教授 / 越智 守生ochident@
 准教授 / 廣瀬 由紀人yukito@ 准教授 / 廣瀬 弥奈minaniwa@
 講師 / 佐藤 寿哉toshiya@ 助教 / 仲西 和代kdontics@ 助教 / 平木 大地daichi0530@
 助教 / 佐藤 幸平kohey@ 助教 / 山中 大寛masahiro-y@ 助教 / 横関 健治yokozeki@
 助手 / 塩見 浩太ni9ni9ya@ 助手 / 石川 未来

【概要】

1年前期に学んだ歯の解剖学的知識や顎模型をもとに歯の形態を彫刻・再現することにより理解する。歯の石膏棒に彫刻することにより、解剖学で学んだ知識の理解を高め各歯の立体的特徴と形態を確実に習得する。これにより将来歯科医師として臨床に役立つことになる。

【学修目標】

- 上顎中切歯の形態的特徴を列挙する。
 - 上顎中切歯の形態的特徴を考慮し、肉眼的に認識したものを立体的に忠実に再現彫刻する。
 - 上顎犬歯の形態的特徴を列挙する。
 - 上顎第一大臼歯の形態的特徴を列挙する。
 - 上顎第一大臼歯の形態的特徴を考慮し、肉眼的に認識したものを立体的に忠実に再現彫刻する。
 - 下顎第一大臼歯の形態的特徴を列挙する。
 - 下顎第一大臼歯の形態的特徴を考慮し、肉眼的に認識したものを立体的に忠実に再現彫刻する。
- 80分で1歯の彫刻を行う。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	石膏棒による歯型彫刻	器具の取り扱い方法について説明 四角錐の削合	越智 守生 廣瀬 由紀人 廣瀬 弥奈 佐藤 寿哉 仲西 和代 平木 大地 佐藤 幸平 山中 大寛 横関 健治 塩見 浩太 石川 未来
2	石膏棒による歯型彫刻	上顎中切歯と上顎犬歯の解剖学的特徴の説明 円柱の削合 円柱の応用	越智 守生 廣瀬 由紀人 廣瀬 弥奈 佐藤 寿哉 仲西 和代 平木 大地 佐藤 幸平 山中 大寛 横関 健治 塩見 浩太 石川 未来
3	石膏棒による歯型彫刻	小テスト(範囲～上顎中切歯の形態的特徴について) 上顎右側中切歯削合 顎模型に植立されている人工歯をモデルとして25×25×100mmの石膏棒に臼歯の彫刻を行う。 歯と歯周組織の発生及び構造(F-3-1)-	越智 守生 廣瀬 由紀人 廣瀬 弥奈 佐藤 寿哉 仲西 和代 平木 大地 佐藤 幸平 山中 大寛 横関 健治 塩見 浩太 石川 未来

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
4	石膏棒による歯型彫刻	小テスト（範囲～上顎犬歯の形態的特徴について） 参考資料1の説明 上顎右側中切歯削合 顎模型に植立されている人工歯をモデルとして25×25×100mmの石膏棒に臼歯の彫刻を行う。 歯と歯周組織の発生及び構造（F-3-1）-	越智 守生 廣瀬 由紀人 廣瀬 弥奈 佐藤 寿哉 仲西 和代 平木 大地 佐藤 幸平 山中 大寛 横関 健治 塩見 浩太 石川 未来
5	石膏棒による歯型彫刻	小テスト（範囲～参考資料1） 上顎右側中切歯削合、作品提出 上顎第一大臼歯の形態的特徴についての説明 顎模型に植立されている人工歯をモデルとして25×25×100mmの石膏棒に臼歯の彫刻を行う。 歯と歯周組織の発生及び構造（F-3-1）-	越智 守生 廣瀬 由紀人 廣瀬 弥奈 佐藤 寿哉 仲西 和代 平木 大地 佐藤 幸平 山中 大寛 横関 健治 塩見 浩太 石川 未来
6	石膏棒による歯型彫刻	小テスト（範囲～上顎第一大臼歯の形態的特徴について） 上顎右側第一大臼歯の削合 参考資料5の説明 顎模型に植立されている人工歯をモデルとして25×25×100mmの石膏棒に臼歯の彫刻を行う。 歯と歯周組織の発生及び構造（F-3-1）-	越智 守生 廣瀬 由紀人 廣瀬 弥奈 佐藤 寿哉 仲西 和代 平木 大地 佐藤 幸平 山中 大寛 横関 健治 塩見 浩太 石川 未来
7	石膏棒による歯型彫刻	小テスト（範囲～参考資料5） 上顎右側第一大臼歯削合 下顎第一大臼歯の形態的特徴についての説明 顎模型に植立されている人工歯をモデルとして25×25×100mmの石膏棒に臼歯の彫刻を行う。 歯と歯周組織の発生及び構造（F-3-1）-	越智 守生 廣瀬 由紀人 廣瀬 弥奈 佐藤 寿哉 仲西 和代 平木 大地 佐藤 幸平 山中 大寛 横関 健治 塩見 浩太 石川 未来
8	石膏棒による歯型彫刻	小テスト（範囲～下顎第一大臼歯の形態的特徴について） 上顎右側第一大臼歯削合、作品提出 ビデオで下顎右側第一大臼歯展開図を利用した方法について配信 顎模型に植立されている人工歯をモデルとして25×25×100mmの石膏棒に臼歯の彫刻を行う。 歯と歯周組織の発生及び構造（F-3-1）-	越智 守生 廣瀬 由紀人 廣瀬 弥奈 佐藤 寿哉 仲西 和代 平木 大地 佐藤 幸平 山中 大寛 横関 健治 塩見 浩太 石川 未来
9	石膏棒による歯型彫刻	下顎右側第一大臼歯の展開図の書き方についての説明 下顎右側第一大臼歯削合 顎模型に植立されている人工歯をモデルとして25×25×100mmの石膏棒に臼歯の彫刻を行う。 歯と歯周組織の発生及び構造（F-3-1）-	越智 守生 廣瀬 由紀人 廣瀬 弥奈 佐藤 寿哉 仲西 和代

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
			平木 大地 佐藤 幸平 山中 大寛 横関 健治 塩見 浩太 石川 未来
10	石膏棒による歯型彫刻	下顎右側第一大臼歯の展開図提出 下顎右側第一大臼歯削合 参考資料3の説明 顎模型に植立されている人工歯をモデルとして25×25×100mmの石膏棒に臼歯の彫刻を行う。 歯と歯周組織の発生及び構造(F-3-1)-	越智 守生 廣瀬 由紀人 廣瀬 弥奈 佐藤 寿哉 仲西 和代 平木 大地 佐藤 幸平 山中 大寛 横関 健治 塩見 浩太 石川 未来
11	石膏棒による歯型彫刻	小テスト(範囲~参考資料3) 下顎右側第一大臼歯削合 参考資料7の説明 顎模型に植立されている人工歯をモデルとして25×25×100mmの石膏棒に臼歯の彫刻を行う。 歯と歯周組織の発生及び構造(F-3-1)-	越智 守生 廣瀬 由紀人 廣瀬 弥奈 佐藤 寿哉 仲西 和代 平木 大地 佐藤 幸平 山中 大寛 横関 健治 塩見 浩太 石川 未来
12	石膏棒による歯型彫刻	下顎右側第一大臼歯削合、作品提出 下顎右側第一大臼歯1本をビデオ視聴により削合したものを提出 顎模型に植立されている人工歯をモデルとして25×25×100mmの石膏棒に臼歯の彫刻を行う。 歯と歯周組織の発生及び構造(F-3-1)-	越智 守生 廣瀬 由紀人 廣瀬 弥奈 佐藤 寿哉 仲西 和代 平木 大地 佐藤 幸平 山中 大寛 横関 健治 塩見 浩太 石川 未来
13	石膏棒による歯型彫刻	小テスト(範囲~参考資料1) 下顎右側第一大臼歯削合 冬休みの宿題指示 顎模型に植立されている人工歯をモデルとして25×25×100mmの石膏棒に臼歯の彫刻を行う。 歯と歯周組織の発生及び構造(F-3-1)-	越智 守生 廣瀬 由紀人 廣瀬 弥奈 佐藤 寿哉 仲西 和代 平木 大地 佐藤 幸平 山中 大寛 横関 健治 塩見 浩太 石川 未来
14	石膏棒による歯型彫刻	下顎右側第一大臼歯削合(展開図を利用した方法) 冬休みの宿題提出 顎模型に植立されている人工歯をモデルとして25×25×100mmの石膏棒に臼歯の彫刻を行う。 歯と歯周組織の発生及び構造(F-3-1)-	越智 守生 廣瀬 由紀人 廣瀬 弥奈 佐藤 寿哉 仲西 和代 平木 大地 佐藤 幸平 山中 大寛 横関 健治 塩見 浩太

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
			石川 未来
15	石膏棒による歯型彫刻	試験前練習 顎模型に植立されている人工歯をモデルとして25×25×100mmの石膏棒に臼歯の彫刻を行う。 歯と歯周組織の発生及び構造 (F-3-1)-	越智 守生 廣瀬 由紀人 廣瀬 弥奈 佐藤 寿哉 仲西 和代 平木 大地 佐藤 幸平 山中 大寛 横関 健治 塩見 浩太 石川 未来

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による。

【評価方法】

[評価方法] 学習意欲・展開図提出状況、実習時に削合した課題提出状況（10%）・小テスト（20%）・宿題の提出状況（10%）・定期試験（彫刻試験）（60%）

【教科書】

「歯型彫刻実習書」北海道医療大学歯学部 クラウンブリッジ・インプラント補綴学分野 編
「歯型彫刻実習動画」北海道医療大学歯学部 クラウンブリッジ・インプラント補綴学分野 編

【学修の準備】

当該実習内容について実習書をよく読んでおくこと。（20分）
削合に時間がかかる学生は事前に一本当該歯を削合すること。（90分）

【ディプロマポリシー（学位授与方針との関連）】

DP1.人々のライフステージに応じた疾患の予防、診断および治療を実践するために基本的な医学、歯科医学、福祉の知識および歯科保健と歯科医療の技術を修得している（専門的実践能力）。
DP3.疾患の予防、診断および治療の新たなニーズに対応できるよう生涯にわたって自己研鑽し、継続して自己の専門領域を発展させる能力を身につけている（自己研鑽力）。

【実務経験】

越智 守生（歯科医師）、廣瀬 由紀人（歯科医師）、廣瀬 弥奈（歯科医師）、佐藤 寿哉（歯科医師）、仲西 和代（歯科医師）、平木 大地（歯科医師）、佐藤 幸平（歯科医師）、山中 大寛（歯科医師）、横関 健治（歯科医師）、塩見 浩太（歯科医師）、石川 未来（歯科医師）

【実務経験を活かした教育内容】

歯科医師免許を有するインストラクターが実務経験を活かし、適切な歯科用器具の取り扱いを実演することで教育成果が期待できる内容となっている。